

Kendai [秋田県立大学広報誌]

イスタ

Akita Prefectural University

VOL.14
2014.03



2月8日、由利本荘市・アルピオン乗馬クラブ冬季練習馬場を会場に、「薫風・満天フィールド交流塾」の企画により雪中乗馬体験会が行われ、学生7名が参加しました。学生たちはみな初めての乗馬ながら、3回の騎乗練習をへて馬場を常歩で一周できるようになりました。



特集

卒業生・修了生 インタビュー

この3月に秋田県立大学から巣立つ卒業生・修了生に本学での生活などについて話をうかがいました。

Contents

- 01 News & Topics
- 03 卒業生・修了生インタビュー
- 09 図書館だより
- 10 瞬間風速～コラム～

次期学部長、木材高度加工研究所長らが決定

12月27日、現学部長らの任期満了に伴う次期学部長らの人事が発表され、システム科学技術学部長に松本真一教授、生物資源科学部長に吉澤結子教授、木材高度加工研究所長に林知行教授の就任が決まりました。また、総合科学教育研究センター長は高橋秀晴教授の再任が決まりました。

松本教授は1999年から建築環境システム学科教授を務め、専門分野は建築環境工学。

吉澤教授は1999年に応用生物科学科助教授、2007年から教授を務め、専門分野は生物有機化学。

林教授は森林総合研究所などを経て2013年8月から木材高度加工研究所教授を務め、専門分野は木質材料や木質構造。

高橋教授は2004年に総合科学教育センター助教授、2007年から教授を務め、専門分野は日本近現代文学。



松本真一教授



吉澤結子教授



林知行教授



高橋秀晴教授

秋田キャンパス

森田弘彦教授が平成26年度日本農学賞を受賞

生物資源科学部生物生産科学科の森田弘彦教授が「水田のイネ科雑草の簡易識別法と発生生態に関する研究」のテーマで平成26年度日本農学賞を受賞することが決定しました。今回森田教授が受賞することとなった日本農学賞は、農学上顕著な業績を挙げたものに対し日本農学会が表彰するもので、日本の農学研究者間における最高の栄誉として今日まで続いています。

受賞業績は日本雑草学会から推薦され、その概要は以下のとおりです。

優れた選択性を備えた除草剤が雑草制御の主要な手段である日本の水田農業で、選択性除草剤を合理的に利用するには、制御対象となる雑草種の、花や果実を欠く生育段階での正確な認識と除草剤での制御可能な雑草の生育段階の把握が不可欠です。そこで、イネやムギ類などイネ科作物を主体とする日本の水田作の中で最も厄介な仲間であるイネ科雑草のいくつかの群について、生育初期に現場で使える簡易な識別法を作成し、それらの発生生態を明らかにしたものです。さらに、熱帯西アフリカの稲作技術開発や日本での帰化植物情報のネットワークの構築に関わり、全体として、水田作でのイネ科雑草の生物学的・生態学的特性に基づく合理的管理に貢献したものです。

森田教授のコメント

「思いもよらず、大変に重い賞を頂くこととなりましたが、本学の皆様の日頃からのご支援、ご鞭撻に深く感謝申し上げます。」



木材高度加工研究所

林教授が政府のインターネットテレビに出演！

木材高度加工研究所の林知行教授が政府インターネットテレビ「徳光&木佐の知りたいニッポン〜森が泣いている〜日本の資源 国産木材を使おう!」に出演しました。

林教授は、森林資源の増加に対して国産木材の需要が低迷し、育った樹木が伐採されずに放置された結果、人工林が弱ってしまっていること、この状況を打破するために国を挙げて国産木材の利用促進を図っていることを解説しました。

URL <http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg8609.html>

大潟キャンパス

「恋するフォーチュンクッキー」アグリビジネス学科&フィールド教育研究センターVer.が公開！

AKB48の曲に合わせて大潟キャンパスの学生や教職員が踊る「恋するフォーチュンクッキー アグリビジネス学科&フィールド教育研究センターVer.」がYouTubeで公開されました。

これは、アグリビジネス学科の学生が、大潟キャンパスの楽しい雰囲気や、アグリビジネス学科の特色であるプロジェクト研究、そして明るい学生の様子を伝えたいという思いで企画・制作したものです。これまでに5,000回以上再生されており、本学卒業生や地元の方にも大変喜ばれています。



QRコード



本荘キャンパス

第62回秋田県発明展で学生2名が金賞を受賞

第62回秋田県発明展が秋田市で11月9日、10日の両日にわたり開催され、全県から集まった110点の作品の中から、機械知能システム学科4年・藤澤諒(写真左)さんと、同・角田憲太郎(写真右)さんの作品が、それぞれ金賞を受賞しました(指導教員:下井信浩教授、佐藤和人准教授、間所洋和助教)。また、秋田県発明展に先立って10月26、27日に由利本荘市で行われた「第61回本荘由利発明工夫展」では、藤澤さんの作品が金賞、角田さんの作品が銀賞を受賞しました。

2人は「今後も実用化に向け、研究を進めたい」「高齢者の方々の更なる快適な生活を目指し、努力していきたい」と喜びを語りました。



06

スーパー連携大学院 第1回秋田地域コアフォーラムを 開催しました

12月20日、秋田市のカレッジプラザを会場に「スーパー連携大学院 第1回秋田地域コアフォーラム」が行われました。会場には本学関係者や学生など約70名が集まり、スーパー連携大学院の取組や、コンソーシアムが清水建設株式会社および野村證券株式会社と共同で研究しているグリーンフロート構想に関する講演に耳を傾けました。

グリーンフロート構想とは、清水建設株式会社の若いエンジニアが中心となって議論を重ねている夢の都市構想で、赤道直下に人工島および巨大な塔を建設し、太陽光発電を利用して植物工場で野菜などを栽培することを目指しています。スーパー連携大学院はこの構想に共感し、共同で研究していくために、清水建設株式会社、野村證券株式会社と三者協定を結びました。

本学では、産学官協働ネットワークによるイノベーション博士と地域再生をテーマとしたフォーラムを次年度以降も開催していく予定です。



本荘キャンパス

公立大学学生大会に学生3名が参加、他大学と交流深める

10月12日、13日に、岩手県立大学を会場に「公立大学学生大会」が実施され、31公立大学から81名の学生が集まりました。本学からは、大島克征さん(電子情報システム学科3年)、後藤良太さん(同3年)、高岡憲司さん(同2年)が参加し、ワークショップやパネルディスカッションを通して、同世代の学生と交流し、公立大学と地域の関わり方の在り方について考えを深めました。

3人は、「公立大学として地域とどう関わっていけるのか、学生として考える機会が増えるのは良いと思う」「今後は各地の学生たちともサポートし合いながら活動していきたい」などと語り、学生主体で活動を行うモチベーションを高めたようでした。



秋田キャンパス

佐藤助教が平成25年度秋田わか杉科学技術奨励賞を受賞

生物生産科学科の佐藤奈美子助教が、平成25年度「秋田わか杉科学技術奨励賞」を受賞しました。秋田県は、若手研究者の研究開発意欲を高め、優れた研究者が持続的に輩出される環境の整備と、新産業・新技術の創出につなげることを目的に平成19年度から表彰を実施しており、女性の受賞はこれが初となります。

佐藤助教は、カドミウム高蓄積・移行イネ品種である、長香穀やカドミウム低移行性突然変異体を材料として、イネにおけるカドミウム蓄積機構の鍵となる遺伝子の存在とその機能を明らかにしました。

11月7日には、秋田県庁で伝達式があり、佐竹敬久知事から賞状が手渡されました。





機械知能システム学科

Kurosu Yukari

黒須 由香理

出身県／栃木県
出身高校／鹿沼東高校

〔就職内定先〕

日産自動車株式会社

内定先企業の紹介と志望動機

自動車の製造、販売をグローバルに行うメーカーです。私はR&D(研究・開発)部門に配属される予定です。世界中の人々に親しんでもらえるような自動車の設計に携わりたいと思っています。

Q1 卒業論文は、
どのようなテーマに取り組みましたか？

トポロジー最適化光学クロウクのロバスト性に関する研究に取り組みました。光学クロウクとは、何らかの構造で物体を覆い周囲の光を散乱させることなく制御することで、透明マントの様に物体を不透明にするデバイスです。先行研究で設計した光学クロウクに関して媒体や環境を変化させるとどうなるか、有限要素法を用いて計算しました。

Q2 大学生活で
一番印象に残っていることは？

私は4年間ジャズバンドサークルに所属しました。沢山の思い出がありますが、2年生の夏休みの合宿で誕生日を祝ってもらったことが一番の思い出です。私にばれないようにケーキを作ったり、メッセージを書いてくれたりして、とても嬉しかったです。仲間が準備していたことに全く気づかなかった自分にもびっくりしました(笑)

Q3 卒業後の目標を
お聞かせください。

英語を身につけることです。日産自動車には日本人だけでなく、多国籍の人が在籍しており、国内にいても英語を使うことが多いと先輩社員から言われています。私はあまり英語が得意ではないので、誰とでもコミュニケーションが取れるように卒業後も学習し、ゆくゆくは海外でも仕事ができるようになりたいです。

特集

卒業生・修了生 インタビュー

Q1 卒業論文は、
どのようなテーマに取り組みましたか？

「画像認識によるスポーツ動画内からのボールコース解析」というテーマで研究を行いました。スポーツVTRなどでよく見るボールコースの描画にはハイスピードカメラが用いられており、中学・高校の部活動や大会などでは用いることが難しい状況です。本研究では、一般の方も使用できるよう家庭用ビデオカメラを使用したボールコース解析システムの考案、簡易的なプログラム作成を行いました。

Q2 大学生活で
一番印象に残っていることは？

就職活動です。ゴールが見えない中、一つ一つの行動が自分の今後の人生に影響を与える就職活動はとても苦しい日々でしたが、自分を見つめ直したり、今後の社会の在り方を考えたりすることができました。初内定は飛び上るほどうれしいものでした。

Q3 卒業後の目標を
お聞かせください。

人を動かす人間になることです。大学で学んだことは自分自身のスキルアップにつながることも多いですが、それ以上に人間関係の築き方だったように思えます。仕事をしていくうえで将来は人の上に立って企画・運営していくことになるので、大学で得た経験を生かしていきたいです。



電子情報システム学科

Baisho Yuya

倍賞 裕也

出身県／秋田県
出身高校／花輪高校

〔就職内定先〕

東日本旅客鉄道株式会社

内定先企業の紹介と志望動機

私が配属される東北工事事務所はJR東日本の中でも線路や電車線などの設備工事の計画・現場監督などを行っています。また、JR東日本の「総合エンジニアリング部門」として踏切保安装置や運転制御システムなどのシステムの開発も手掛けています。



建築環境システム学科

Sekiuchi Hiroka

堰内 宏香

出身県／青森県
出身高校／三本木高校

[就職内定先]

株式会社 竹中工務店

内定先企業の紹介と志望動機

東京ドームをはじめとする大型ドームや商業施設、空港、伝統建築など、地域のランドマークとなるような多くの作品を手がけてきたゼネコンです。設計施工が一貫している点や、環境への配慮、安全性、快適性などの視点と共に、建物のデザイン性も重視している点に共感し、この企業で私も働きたいと思いました。



Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

東日本大震災で被災した住宅の室内環境について研究しました。震災では多くの住宅が浸水被害を受けましたが、海水の侵入や部材の破損は湿度の上昇につながり、室内環境や健康への悪影響が懸念されます。そこで実際に被災した住宅での実測調査を行い、実態を把握すると共に、高湿度状態の緩和策について効果を検証しました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

潮風祭やサークル活動、研究室での日々など思い出は沢山ありますが、それらと同じくらい思い出に残っているのが打ち上げです(笑)。何かと機会を見つけてはみんなで集まり、語り合い、盛り上がり……楽しい思い出がありません。課題で徹夜が続く時もありましたが、そんな日々も乗り越えられたのは、仲の良い仲間たちが沢山いたおかげだと思っています。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

建物と利用者が一体となって環境配慮ができる作品をつくりたいです。今はまだ漠然としていますが、研修や1級建築士取得に向けての勉強を通し、より具体的に夢を語るよう、ステップアップしていきたいです。また、2020年には東京オリンピックも開催されるので、ぜひ会場や選手村などの建設に携わりたいと思っています。

システム科学技術学部[卒業生]

Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

室内浮遊真菌のDNA解析による濃度定量法の開発という形で研究を行いました。内容としては、室内に浮遊している真菌をリアルタイムPCR法で定量して、濃度とアレルギー疾患との関連性を見ようというものです。うまくいかないことも多々ありましたが、先生からアドバイスをもらいながら研究しました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

就職活動が最も印象に残っています。今まで生きてきた中でこれほど自己分析をしたことはなかったので、自分自身を見つめ直すきっかけになりました。面接では、物事を簡潔に伝えること、そして語彙を増やすことの大切さを知る良い経験になりました。今思えば、色々な話が聞けたことが楽しかったです。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

仕事において「あの人になら任せられる」と言われるような人になりたいです。そのためより多くの知識を身につけて、自分の言動に責任を持てる人になりたいです。また、仕事や趣味から多くのことを吸収できるように、広い視野を持てるようになりたいです。



経営システム工学科

Miura Tetsuya

三浦 徹弥

出身県／秋田県
出身高校／由利高校



[就職内定先]

株式会社北都銀行

内定先企業の紹介と志望動機

秋田県秋田市に本店を置く、地域密着型の金融機関です。県内企業の海外進出のために海外の金融機関と業務提携を結んでいます。私が北都銀行を選んだ理由は出身地の秋田を活気付けたいと思ったからです。



応用生物科学科

Hosokawa Yoshiharu

細川 由晴

出身県／静岡県
出身高校／聖隷クリストファー中・高校

〔就職内定先〕

株式会社東北フジパン

内定先企業の紹介と志望動機

愛知県名古屋市に拠点を構える製パン業界第三位に入るフジパン株式会社のグループ会社です。マクドナルドをはじめとした企業の味の中核となる商品を任されるフジパンの食の安全性に興味がわき、また違う部署の方同士の仲がよく、このような雰囲気の中で働きたいと強く思ったからです。



Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

白神山地の腐葉土から分離された製パンに適した発酵能力をもつ白神こたま酵母は冷凍や乾燥に強く、トレハロースを多く含んでいます。また、これまでの研究で熱や冷凍に強い酵母は同時に酸化ストレスにも強いことが分かっています。そこで、酸化ストレスに強く、熱と冷凍に弱い酵母を用いて解析をしました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

大学2年生から約1年間、大学オリジナルブランドの日本酒である「究」製造に力を注いだことです。同期の仲間と酒米の田植えから行い、収穫後は酒蔵で泊り込みの作業をするなど貴重な体験が出来ました。商品へのラベル張りが終わったときの1つの事を成し遂げたという達成感は今でもよく覚えています。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

半年間頑張って決めた自分の希望する製パン企業なので、まずは仕事に少しでも早く慣れたいです。そして色々な商品とお客様の意見を学んでいき、ヒット商品となれる商品開発をし、自分が手掛けたパンが家族や知人に食べてもらえたらいいなと思っています。

特集

卒業生・修了生 インタビュー

Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

薬用植物であるオウレンを用い、植物工場において促成栽培に必要な発芽制御に関する研究を行いました。山へサンプリングに出掛けたり、実験室で無菌操作を行ったりと幅広い研究をすることができました。結果が出ず悩んだ時期もありましたが、試行錯誤を繰り返しながら、オウレン培養苗の出芽条件について解明しました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

生物生産科学実習です。先生方のご指導のもと、学科の仲間と協力してたくさんの野菜を栽培しました。特に蒸し暑い時期は大変でしたが、効率を考えながら作業に励みました。収穫時の喜びや達成感は今でも鮮明に覚えています。真心を込めて育てた野菜の味は格別でした。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

常に学ぶ姿勢を忘れず、日々周りの方々に感謝しながら、様々な場面で柔軟に対応できる教員になることが大きな目標です。また、農業という科目を通して生徒たちに命の尊さやありがたみを学んでもらい、人や食に対して理解の深い、思いやりのある生徒を育てたいです。



生物生産科学科

Izumi Arisa

和泉 有紗

出身県／秋田県
出身高校／金足農業高校



〔就職内定先〕

高等学校教諭(農業／秋田県)

内定先企業の紹介と志望動機

将来を担う子どもたちを教え導いていく責任ある職業です。昨年の秋田県教員採用試験に合格し、4月から県内の農業高校または農業科のある高校で勤務する予定です。子どもを育てるという立場から、秋田県の発展に貢献したいと考えています。



生物環境科学科

Takahashi Kozue

高橋 こずえ

出身県／秋田県
出身高校／横手城南高校

〔就職内定先〕

株式会社タカヤナギ

内定先企業の紹介と志望動機

秋田県大仙市に本社を置き、秋田県内にスーパーマーケットを展開している企業です。「地産地消」を推奨しており、地元秋田の農産物を豊富に取り揃えています。



Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

大量生産・大量消費社会の現代では忘れ去られようとしている、かつての農村では当たり前に行われていた自給的生活技術に注目しました。その技術が現代で継承・復活していくためにはどのような要因が必要かをアンケートや聞き取り調査をもとに考察しました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

人との出会いです。入学してから、友達や先生、卒論を通じて出会った方などたくさんの方にお世話になりました。この方々の支えがあったからこそ今の自分があると思います。この貴重な出会いを無駄にせず、これからもつながっていきたいです。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

多くの人に信頼してもらえる人になりたいです。信頼を得るには小さな積み重ねが大切だと思うので、時間を守ったり、言葉遣いに気を付けたりと、当たり前のことが当たり前にできるように努力したいです。また、地元秋田の魅力についてもっと知り、秋田のいいところをたくさんの人にアピールしていけるように頑張りたいです！

生物資源科学部[卒業生]

Q1 卒業論文は、 どのようなテーマに取り組みましたか？

「飼料用米の流通方式と定着条件」というテーマで取り組みました。秋田県の飼料用米生産は流通方式ごとに面積変動に違いがあることに注目し、流通方式別の作付面積変動の実態と要因について聞き取り調査を行い、飼料用米が安定的に生産できるための条件について研究しました。

Q2 大学生活で 一番印象に残っていることは？

4年生のときのゼミ合宿中に、宿泊したホテルの裏でゲリラ豪雨による土砂崩れが起こったことが印象的です。大雨の中みんな避難したり、帰宅が困難となりさらに一泊することになったりと、災難続きのゼミ合宿でした。その時、迅速に対応してくださった先生方と事務の方には今でも感謝しています。

Q3 卒業後の目標を お聞かせください。

県立大で学んだたくさんのことを余すことなく活かせるように頑張りたいです。そして今後もたくさんのことを吸収して、群馬県の農業に少しでも貢献していきたいと思っています。また、ここで出会った仲間との縁を大切にしたいので時間をみつけては秋田に遊びに来たいです。



アグリビジネス学科

Akiyama Risa

秋山 理沙

出身県／群馬県
出身高校／前橋南高校

〔就職内定先〕

群馬県庁

内定先企業の紹介と志望動機

行政機関である群馬県庁において農業・農村の振興のため、各種施策の推進や優れた技術・品種の開発と普及指導等を行い、次代の担い手の育成や、競争力のある産地づくり支援に携わる予定です。私は大学で学んだ知識を地元である群馬県の農業に活かしたいと思い群馬県の農業職を志望しました。





経営システム工学専攻

Ito Tomomi

伊藤 智美

出身県／秋田県

出身高校／聖霊女子短期大学付属高校

〔就職内定先〕

株式会社I2C

内定先企業の紹介と志望動機

コンサルティングからシステム開発、保守・運用サポートに至るまで、幅広い業務領域をカバーした技術サービスを提供しています。また、ITの企業では珍しく女性比率が50%以上の会社で、女性エンジニアも活躍する企業です。



Q1 大学院では、 どんな研究に取り組みましたか？

女性の社会進出が進んでいる中で、国際的に見ても日本の女性の就業は遅れています。女性の就業を阻む要因として、企業の中の制度の問題、労働の形態、待機児童の問題などが一般的に言われています。しかし、日本の中でも地域別には女性の就業の高い地域も見られます。そのような地域の特徴をみるために、地域別、産業別、年齢別に女性の就業の比較を行いました。

Q2 6年間で一番印象に残っていることは？

大学祭が印象的に残っています。大学祭実行委員会の一員として企画したイベントも、個人的に先輩方と企画したイベントも準備しなければならず、寝る間を惜しんで作業しました。どの企画も、不意のアクシデントをきっかけに口論したり仲違いしたりと、毎日悩む日々もありました。しかし、最後には一致団結して企画を成功させ、今までの苦労も忘れるような感動を共有できました。

Q3 今後の目標は？

会社の中で「伊藤さんがいないと仕事がまわらない」と言われるようになることが目標です。初めは会社に行われた仕事を行う日々になると思います。それを漫然と行うのではなく、大学で得た知識や技術を生かし、学ぼうと努力しながら、早く一人前の社会人になりたいです。さらに将来は、働きながら子育てもして幸せな家庭を築くのが目標です。

Q4 大学院進学を考えている人へメッセージ

私が修士1年の時は、同期が就職して大学を離れてしまったので、寂しく、置いていかれたような気がしました。しかし、2年間大学院で学び、行ったことは、大学4年間とは比べものにならないほど大きかったです。このことは、就職活動中も大きな自信になりました。大学院へ進学する人は、2年間が自分の自信に繋がるように頑張ってください。

特集

卒業生・修了生 インタビュー

Q1 大学院では、 どんな研究に取り組みましたか？

生物の優れた機能や機構を調べて工学的に活かすバイオメティックスの研究をしていました。その中でも、水上から体長の20倍以上跳躍可能なトビムシの構造や運動挙動の解明を目的として、レーザー顕微鏡やハイスピードビデオカメラ等を用いて実験を行いました。生物を対象とした実験は困難を極めました。思い通りのデータが収集できた時は非常に嬉しかったです。

Q2 6年間で一番印象に残っていることは？

国際交流サークルのメンバーで稲刈り体験をしたことです。このサークルは中国に短期留学した経験から本学でも国際交流の機会を設けたいと思い、留学したメンバーが中心となって設立したものです。サークルの留学生や地域の人々、小学生と交流を図りながら手植えた稲を収穫したときは大きな達成感を味わいました。さらに、収穫後につぎたてのお餅を食べた時の喜びはひとしおでした。

Q3 今後の目標は？

今まで大学で学んだ知識や二度の短期留学経験を活かして、将来は世界で活躍するようなエンジニアになりたいです。入社後には与えられた仕事のみならず何事にも積極的に取り組むことで視野を広げ、幅広い知識を身につけて一人前の技術者になりたいと考えています。また、語学力に関しても英語を中心として日々学習し、自分自身の資質を向上させていきたいです。

Q4 大学院進学を考えている人へメッセージ

何事にも積極的に挑戦してほしいです。研究のみならず留学やインターンシップ、ボランティア活動等に参加して、様々な価値観や考え方の人とコミュニケーションを図ることで、多くのことを学んでほしいと思います。本学には様々な学生支援制度があり、親身になってくださる先生やスタッフばかりですので、安心してチャレンジできる環境があると思います。



機械知能システム工学専攻

Kainuma Toshiya

貝沼 俊哉

出身県／愛知県

出身高校／熱田高校

〔就職内定先〕

TDK株式会社

内定先企業の紹介と志望動機

私達の身の周りにある携帯電話から自動車まで幅広く使用されている電子部品を製造しています。HDD用磁気ヘッドは世界トップシェアを誇ります。また、海外売上比率が8割を超えているグローバル企業です。高い技術力とともに将来は海外で働く経験を積むことができるところに魅力を感じました。





生物資源科学専攻

Kudo Gaku

工藤 学

出身県／岩手県
出身高校／黒沢尻北高校

[就職内定先]

クミアイ化学工業株式会社

内定先企業の紹介と志望動機

創造する科学を通じて「いのちと自然」を守り育てることをテーマとし、農業の開発、製造、販売を行う農業の専門メーカーです。豆つぶ剤や微生物農薬「エコシリーズ」など農家の様々な需要に応える商品を展開しており、そのような企業で農家から信頼される薬剤普及活動を行いたいと考え、クミアイ化学工業を志望しました。



Q1 大学院では、 どんな研究に取り組みましたか？

イネの主要病害であるイネいもち病菌とイネばか苗病菌の個体群変異に関する研究に取り組みました。秋田県は稲作が盛んな地域ということもあり、上記病害の防除はイネの安定生産を図る上で必要不可欠とされています。そこで秋田県内に分布するいもち病菌の個体解析を行うとともに、近年発生が問題化しているばか苗病菌の化学合成農薬に対する感受性に着目し、その病原性や種子消毒に与える影響について調査しました。

Q2 6年間で一番印象に残っていることは？

修士1年時に参加した韓国順天大学校への夏季滞在プログラムです。他国のサンプルを修士論文研究に組み込むことで新たな知見を得られると考え、約1ヶ月間韓国順天大学で菌の収集と分離等の研究を行ってきました。訪韓当初は文化や言語、実験環境の違いに困惑しましたが、身振り手振りを交えて自らの考えを伝え、工夫を加えて不足を補いながら研究を進めることで、目的とした菌の収集ができました。

Q3 今後の目標は？

今後は、研究対象として扱ってきた病原菌や化学合成農薬だけでなく、作物や栽培技術を始めとする農業そのものの知識を深めていきたいと考えています。また、大学生活で培った貪欲な向上心とあらゆる世代と話のできるコミュニケーション力を活用して、農家さんから信頼される薬剤普及活動を行い、現場のニーズを一つ一つ形にしていくことで農作物の安定生産に貢献していきたいと思っています。

Q4 大学院進学を考えている人へメッセージ

大学院ではより専門分野に特化した研究ができることや、学会や研修プログラムへの参加を始めとし、学部4年間とは一味も二味も違った経験を積むことができます。秋田県立大学は決して大きな大学ではありませんが、その利点を生かした学びの場がしっかりと準備された大学だと感じます。秋田の風土や文化に触れながら最先端の研究を行う2年間は学生にとって大きな財産となるはずです。

システム科学技術研究科[修了生] 生物資源科学研究科[修了生]

Q1 大学院では、 どんな研究に取り組みましたか？

清酒やビール、ワインの醸造に用いられている酵母、いわゆる醸造酵母はほとんど胞子を作りますが、これらの酵母から胞子を得ることができれば、新しい酵母の開発が容易になります。醸造酵母が胞子を造らない原因を明らかにするため、醸造酵母の代表格である清酒酵母協会7号において、胞子形成に関与する遺伝子やその発現を制御する因子の解析に取り組みしました。

Q2 6年間で一番印象に残っていることは？

大学院1年生の時に学会で研究成果を発表したことです。実験が思うように進まず、本当に学会で発表できるのか不安に思うこともありましたが、研究内容を分かりやすくかつ誤解がないように伝えるため、時間をかけて発表の準備をしました。発表を終えたときには、それまで取り組んできたことを多くの研究者の前で発表できたことに達成感を覚えました。

Q3 今後の目標は？

全国各地にある様々な日本酒や醤油、味噌の味を知ることです。私の家ではいつも同じ醤油を使っていたのですが、就職活動中に色々な醤油を購入し、メーカーや地方による色や味、香りの違いに驚きました。日本酒や味噌についても、これまで口にしたものは日本で売られている商品のほんの一部であることを実感しました。自分の目で見て、口で味わい、日本酒や醤油、味噌に関する理解を深めていきたいです。

Q4 大学院進学を考えている人へメッセージ

私は大学院に進学し、物事を深く考えることや自分の考えを分かりやすく伝えることができるようになりました。それは、実験方法や結果について自分で考え、先生と議論し、ゼミで発表することを3年間続けたから身についたのだと思います。大学院で得られるものは専門知識や技術だけではなく、日々の研究を通して様々な面で自分を成長させることができれば、進学してよかったと思う2年間になると思います。



生物資源科学専攻

Sato Aya

佐藤 綾

出身県／秋田県
出身高校／秋田南高校

[就職内定先]

小玉醸造株式会社

内定先企業の紹介と志望動機

秋田県潟上市にある清酒、味噌および醤油の醸造元です。清酒は「太平山」、味噌・醤油は「ヤマキウ」の名で知られ、数々の鑑評会やコンクールで賞を受賞しています。微生物の動きを利用する食品の製造に関わりたかったこと、手間暇をかけて高い品質を追求する会社の姿勢に魅力を感じたことから入社を志望しました。



図書館＝「本を借りるところ」と思っていないですか？
図書館の活用方法はそれだけではないのです！

図書館でDVDが視聴できるって、ご存知ですか？

英語音声で聴くと
リスニングの勉強に
最適です！

全キャンパスで
約1,000枚の
DVDを所蔵
しています。

授業のない時間に
映画鑑賞で
気分転換
してみては？

通常開館時間に
受付をすると
引き続き夜間も
視聴可能です！

視聴方法

1

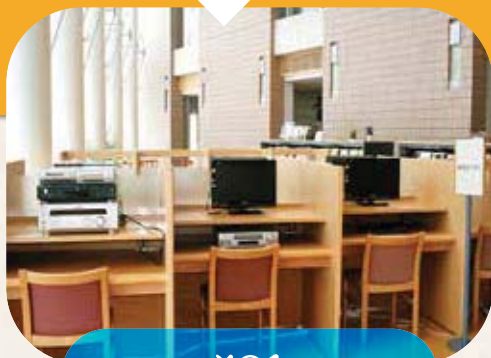
図書館カウンターに
視聴したいDVDの
ケースを持って行く

2

カウンターで
「A V 資料視聴申し込み書」
に記入し、
利用する場所を決める

3

DVD・ヘッドフォン・
リモコンを借りて、
視聴スタート♪



その1
オープンスペース



その2
個室(秋田キャンパス)



その3
グループ学修室(秋田キャンパス
本荘キャンパス)
※学内者専用



経営システム工学科
八木恭子 助教

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。秋田にはまだまだ寒さが続き、暖かな春はもう少し先にやってくる3月のこの時期になると、私自身の卒業のことが思い出されます。

4年生の一年間は必死になって卒業研究に取り組んでいました。内容は金融工学における数値計算に関する研究で、プログラムの構築に夢中になっていました。シミュレーションにより、解析的な価格付けを得ることができない金融商品の適正な価格付けを行いました。友人との共同研究ということもあり、お互い切磋琢磨することで完成させた卒業論文は、とても良い思い出になっています。今、大学で研究が続けられているのは、この卒業研究があったからこそだと思っています。

私は何事も少しずつ努力を積み上げ、成果を上げることが性に合っています。大学院へ進学し、大学教員の道へ進んだことは小さなことの積み上げから成し遂げられたことだと思っています。なかなか、自分の性格を理解することは難しいことのように思います。仕事でも趣味でも何でも構いません。卒業を機会に一度、今後の自分がどうありたいのかを見つめ直してみると、未来がまた違った角度に開けるかもしれません。自分を知ることで世界を広げ、秋田県立大学の卒業生としての誇りを持ち、社会人の一員として、大いに頑張っていたきたいと思います。

卒業を機に、自分を見つめ直してみませんか？



応用生物科学科
春日 和 助教

旅立ちによせて

卒業生のみなさん、そして大学院を修了したみなさん、おめでとうございます。学部や大学院課程を数年間がんばってきた、その成果が見事に実っていることと思います。

数多くの講義や実習をこなした経験は、勉強したことの内容は言うまでもなく、どのようにして勉強すればいいかを習得するステップとなったはずです。これからの人生、まだまだ学ばなければならないことが沢山ありますから。

多くの方にとって、学生生活の集大成となった論文のための研究は、長期に亘って真摯に物事に取り組む貴重な経験になったと思います。勿論、これまでも部活動や受験など、一生懸命取り組んできたものは多々あるでしょう。しかし、研究には勝敗も100点満点もありません。それでも、ひたすら取り組み、物事を達成したという経験は、自分だけの宝物になります。また、研究を進める中で皆さんは、調査や準備、時間や予定の管理、打合せと確認、試行錯誤、検証と考察、報告・プレゼンまで、様々な事柄をクリアしてきたはずです。これらの経験は、今後皆さんが社会に出た時に必ず役に立ちます。

また、大学では、かけがえのない友人や先輩後輩(ついでに教員)との出会いもあったことでしょう。人との繋がりは、生涯に亘って続く貴重なものであり、人脈や知己は生涯の宝物です。大事にして下さい。

皆さんの「これから」に、期待しています。

Are you ready? Good luck!



INFORMATION

秋田県立大学 全国高校生建築提案コンテスト2014
雪と共存する暮らし・雪を楽しむ建築空間デザイン

日本は、冬季でも湿度が高く、国土のほぼ全域にわたり雪の降る「雪と身近な国」とであるといえます。「雪は豊年の瑞」、「我が物と思えば軽し笠の雪」、「蛍雪の功」などの故事に代表されるように、雪は古くから日本の生活の中に息づき、自然の営みとして人々に認識されていました。古来より日本では、雪は自然の持つ美しさ、はかなさの象徴として扱われ、かつ人々に親しまれてきたと言えます。一方で、雪はいったん豪雪となると雪崩や吹雪などをひきおこし、厳しい自然の一面を見せます。そういった二側面を有する雪に対して、過去の人々は時には自然の猛威から人命を守る技術的な対応を迫られ、また、雪と共存する方法を模索してきたといえるのではないのでしょうか。

本コンテストでは、雪と共存する工夫をテーマに雪を身近に楽しめる建築空間、都市空間、ライフスタイルの提案を募集します。雪のある生活を楽しむデザインや雪を遊びに取り入れる工夫、雪問題に対応する方策など、みなさんの自由な発想を期待します。



■対象

高校生（高等専門学校の場合は在籍3年以下の生徒）

■応募規定

A)自由フォーマット:

企画提案や設計事例のような図面を主体とする提案

B)論文フォーマット:

自由研究や文献調査などに基づく提案、小論文・エッセイ

【注意】

- A)、B) は部門ではありません。応募されたすべての形式による提案を同等に審査します。提案形式の違いは審査に影響しません。
- 提出物には、応募者の所属学校名や氏名等のわかる内容を一切記入しないでください。
- 論文や図面の表現方法は自由です。
- 一度提出のあった書類、提出物は一切返却できませんのでご注意ください。必要であれば事前にコピーをとるなどをしてから提出するようにしてください。

■応募方法

【個人応募】

個人応募用紙をホームページからダウンロードして必要事項を記載し、応募提案といっしょに下記の送付先へ提出してください。なお、グループなど複数名で1点の応募もできます。

【高等学校団体応募】

高等学校側で複数の申込み希望者をまとめる場合は、高等学校団体応募申込書に必要事項を記入の上、個人応募用紙及び応募提案をまとめて、下記の送付先へ提出してください。

■応募締切

10月31日(金)※必着
(応募受付は10月1日(水)より)

■結果発表

入賞提案(提案作品、学校名、学年、氏名)については、審査終了後、11月28日(金)に大学ホームページ、新聞紙面等で発表します。また、全ての応募作品に対し、総評、個別作品評、参加記念品をお送りします。

■賞

最優秀賞(1点):賞状、副賞(アップルiPad Air WiFi 16GBモデル/図書カード3万円/JTB旅行券3万円のいずれか希望するもの)、表彰記念品

優秀賞(2点):賞状、副賞(図書カード2万円/JTB旅行券2万円のいずれか希望するもの)、表彰記念品

佳作(5点程度):賞状、副賞(図書カード5千円)、表彰記念品

※グループ応募の場合、副賞は1点のみ、表彰記念品は人数分授与します。

■問い合わせ先・送付先

秋田県立大学 本荘キャンパス事務局
総務・企画チーム
〒015-0055
秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
TEL 0184-27-2000 FAX 0184-27-2180
E-mail koho_akita@akita-pu.ac.jp
ホームページ <http://www.akita-pu.ac.jp>

※応募者の個人情報については、本コンテストの実施・運営のために利用するほか、秋田県立大学に各種情報提供の目的にのみ使用します。また、受賞者の学校名、学年、氏名、提案のデータについては、報道機関に情報提供される場合があります。応募提案は大学のオープンキャンパスや大学祭等での展示や、大学の広報関連の冊子などで利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

Kendai [秋田県立大学広報誌]
イスナ
Akita Prefectural University

「イスナ」は、秋田弁で「良いですね」と言う意味。
人材育成・研究開発を通して、地域社会の発展のために「良い」ことを発信していきたいという願いを込めています。これからも応援よろしくお願いします。

Akita Prefectural University
秋田県立大学

<http://www.akita-pu.ac.jp/>

E-mail koho_akita@akita-pu.ac.jp

秋田キャンパス ■本部 ■生物資源科学部 ■大学院/生物資源科学研究科
〒010-0195 秋田県秋田市下新城野字街通端西241-438 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670

本荘キャンパス ■システム科学技術学部 ■大学院/システム科学技術研究科
〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180

大湯キャンパス ■生物資源科学部(アグリビジネス学科3・4年次)
〒010-0444 秋田県南秋田郡大湯村字南2-2 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377

木材高度加工研究所
〒016-0876 秋田県能代市字海跡坂11-1 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924